

校長室から

「主体性」を育てる

子どもに身につけさせたいことの一つに「主体性」があります。与えられたことだけをするのではなく、自ら考え、自ら行動することが大切です。

しかし、今の社会を見てみると、私たち大人も含めて、「主体性」をもって行動することがあまりできていないようです。その背景には、他人の目が気になって一歩踏み出せなかったり、失敗を怖れるあまり無難に済まそうという気持ちが働いたりすることがあるのかもしれません。

人は、失敗を繰り返し、そこから多くのことを学びながら成長します。学校では、失敗を怖れず、積極的に行動することのできる子どもを育てるため、「失敗しても大丈夫」「前向きな失敗はどんどんしよう」という環境を作るとともに、授業の中でも、考える時間をしっかり取ることや、教師の側が手取り足取りになり過ぎないようにすることなどで、自分で考え、自分から行動を起こすことのできる子どもを育てていきたいと考えています。

(藤川)

なかま



「障害者差別解消法」？

私は視力が低いため、眼鏡などを使って視力を矯正しなければ、自動車を運転することはできません。運がいいことに、この世に「眼鏡」があったおかげで、視力の高い方々と同等の生活を送ることができています。

もしこの世に「眼鏡」がなかったら…？

きっと私は、事故の危険が増すため自動車の運転を許されず、徒歩、自転車、公共交通機関のみで、様々な職場や観光地に行かざるを得ないでしょう。今の生活と比べると、不便な生活だと感じるはずです。

では、自分の障害を補うための道具がない場合、その方は常に不便な生活を選択し続けなければならないのでしょうか？「自分だったら、家族だったら」と考えると、心が苦しくなります。

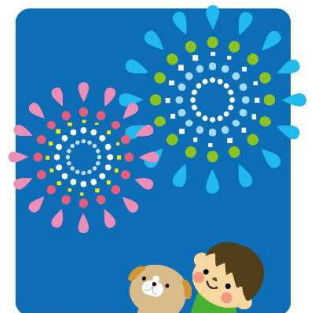
そこで平成28年に施行されたのが「障害者差別解消法」です。障害を理由に申し出を断ったり、改善をしようとしなかったりすることを減らしていこう、なくしていこうという内容です。障害のある方に限らず、1人でも多くの人の「できる・したい」をかなえていくために、みんなで考えていきたいことですね。

(川村)

夏休みに向けて

いよいよ夏も本番になりました。毎日のように水や火の事故がニュースで取り上げられています。学校では、水泳学習や調理実習などで水や火に触れることが多々ありますが、その都度「油断大敵。自分の命は自分で守ろう。」ということをお話しております。子どもだけで、川や海に遊びに行ったり、花火をしたりしないようにおうちの方で話をしてください。健康で安全に夏休みを迎えられるように、学校と家庭が連携して見守っていきましょう。

(福家)



川島小ブログ更新中

川島小学校ホームページ

<http://www.edu-tens.net/syoHP/kawasimaHP/>

川島小学校ブログ

<http://blog.edu-tens.net/e-kawasi/>

(右のQRコードを読み取ると、ブログのサイトにアクセスできます)

